



いしかわ労福協

第659号 2022年12月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 福田 佳央
編集人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
<https://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

2023年度「自治体政策制度の要請」 馳 石川県知事に要請

労福協は、11月28日(月)、馳浩石川県知事を訪ねて、来年度に向けた政策制度等に係る要望書を手交し、実現への協力を求めた。

着席と同時に馳県知事が「要望内容は予め目通しをし、いずれも大切なことであり実現への努力をしたい」と発言された。

その上で、福田佳央理事長が「コロナ感染がまん延し始めた頃は、感染拡大防止を第一義に施設利用などが制限されていたが、2年目頃からは対応策が見えてきたこともあり、特に体育・文化での活動が実施出来るようになった」などの発言に続き、渡邊雅人専務理事が要請内容の重要ポイントを説明した。

その後の懇談において、馳県知事は、「労働者協同組合法は議員立法として提案成立したも



のだが、それには自身も関わり、成立へと漕ぎつけた」と当時の経緯が話され、理解・認識の浸透と普及への協力を馳県知事からも求められ、要請を終えた。

第6回理事会

労福協は、12月15日(木)、ANA ホリデイイン金沢スカイにおいて第6回理事会を役員15名の出席で開催した。

福田佳央理事長が、「ロシアのウクライナ侵攻に端を発した原油高、食料不足、そして円安が拍車をかけた物価高。直近の物価は前年比6.3%上昇したとも聞いており、庶民の生活は厳しさを増している。低所得者の生活は窮地に追い込まれている情報もあり年末に向けた緊急の取り組みが必要に迫っている」などと冒頭の挨拶をした。

渡邊雅人専務理事が前回理事会以降の報告を述べた後、各団体の業況等が報告された。協議事項では、第62回通常総会を2023年6月23日(金)に開催し、同総会前に創立60周年の記念セレモニーを行うことを決定した。



また、2023年度の活動方針の骨格も提起され、来年1月20日までに意見を求め、次回理事会において決定することを確認した。そのほか、年度内の主だった諸会議の開催日程等を決定した。

第4回自主福祉運動推進会議「研修会」

労福協・連合石川・北陸労金・こくみん共済coopの4団体で進める自主福祉運動の推進に係る研修会を11月26日(土)、フレンドパーク石川をメイン会場にWeb配信により、能登、七尾、小松のサテライト会場に加えて北陸労金の大聖寺、松任の二店舗でのサブ会場、個人が参加して実施された。

参加者数は、総勢約200名となり、自主福祉運動について学んだ。

はじめに、花井圭子元中央労福協事務局長(同講師団講師)が「労働者福祉運動の更なる推進を！～歴史を振り返りながら～」と題し、歴史的経緯を説明したのち、「労働運動と労働者福祉事業は『ともに運動する』関係にあり、助け合い・支え合いの基盤を創りだしている」と講演した。

この後、労働組合事例報告として、此木宏昭北陸鉄道労働組合書記長が、「北陸鉄道労働組合の福祉推進活動について」と題して、労金運

動、労済運動の具体的な取り組み内容を苦労話などを付け加えつつ報告した。

また、労働者福祉事業団体報告として、北陸労働金庫本店営業部の山下和穂次長は「投資信託NISA・つみたてNISA」について、こくみん共済coop石川推進本部事業推進部の高橋智浩次長は「自然災害に対する備え」についてそれぞれ報告し、約2時間の研修により、更に自主福祉運動の必要性を学び取り組みへの認識を新たにした。



第22回大衆運動活動家 合祀追悼式

石川労福協・連合石川等で構成する大衆運動活動家顕彰会は、11月23日(勤労感謝の日・水)に第22回合祀追悼会を開催した。



午前10時にフレンドパーク石川において、「感謝の集い」を開催し、推薦団体や友人によるスピーチで在りし日の故人を偲んだ。その後、顕彰碑のある卯辰山に移動し、顕彰碑に合祀者の銘板を収納し参列者全員の献花により合祀した。

今回合祀された方

故 宮田 勇 享年 82 元加賀市議会議員
 故 上村 吉彦 享年 77 元倉庫精練労働組合本部副委員長

これからの行事予定

(12月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
1月4日	水	仕事始め	
5日	木	連合石川・石川労福協合同「2023新春の集い」	ANA クラウンプラザホテル金沢
16日	月	中部労福協 第4回幹事会(～17日)	三重県
18日	水	消費者大会第4回実行委員会	Web
23日	月	第94回石川県統一メーデー第1回実行委員会	フレンドパーク石川

海外支援米発送式

連合石川・労福協等で構成する「食とみどり、水を守るいしかわネットワーク」は、春の田植え、秋の刈り取りと、県内3カ所で米づくり体験を通じて収穫した米をアフリカ・マリ共和国に向けて11月25日(金)に発送した。

発送式では、今日までの取り組みの説明がされたほか、食糧に困窮する国や子ども食堂などへの支援活動としての取り組みを評価し継続して取り組まれることを期待するとした旨の来賓の挨拶を受けた後、田植えや稲刈りに参加した



子ども等が書いたメッセージを米袋に貼付け、子ども等の想いを載せた米を関係者らが国内集積地である横浜港に向けて発送した。

今回は、マリ共和国に向けて540kg、県内子ども食堂に180kgがそれぞれ送られた。

金沢 LSC 「社会貢献活動」

今年の10月21日(金)に開催された金沢地域ライフ・サポートセンター主催『親睦チャリティゴルフ大会』にて参加者の皆様からお預かりした募金額は、33,000円となりました。

皆様からお預かりした募金は、12月8日(木)に社会福祉法人ゆい、NPO法人さわやかUに



寄付をさせていただきました。

募金をお寄せいただいた皆様のご協力に感謝致します。

加賀 LSC

加賀地域ライフ・サポートセンター 『第11回チャリティーコンペ』

加賀地域LSCは、第11回チャリティーコンペを11月5日(土)、那谷寺カントリー倶楽部で開催しました。

総勢7名での参加となり、天候にも恵まれ、秋らしさを感じながらのゴルフコンペとなりました。風が強かった事もあって、皆さんスコアについては伸び悩み、苦戦しておりました。

当日集められたチャリティー募金は7,000円。

来年3月に加賀市に寄付し、児童福祉事業に充てられます。

結果は、次の通りです。

優勝 上田 朋和(加賀市議)

準優勝 山下 美範(月星製作所)

第3位 徳田 康人(北陸労金)

地域貢献部会活動

『第14回親子・お友達ケーキ作り』

日時：2022年12月10日(土) 14:00 ～

場所：セミナーハウスあいりす

参加者11組35名(大人13名・子供22名)

加賀地域LSCは、12月10日(土)、セミナーハウスあいりすにて『親子・お友達ケーキ作り』を開催しました。まだコロナ禍であるため、各テーブルにはなるべく密にならない人数で配置しての開催でした。

作業は、親子で力を合わせ生クリームを泡立てたり、フルーツをスライスしたり、ハラハラする場面もありましたが、けがもなく無事ケーキを完成させていました。参加されたほとんどの方が、ケーキと記念撮影をし、嬉しそうにケーキを持って帰っていかれました。日頃、忙しいお父さん・お母さんにとっては、親子で調理をする機会は少ないかもしれません。そういう意味でも短時間ではありますが、親子のふれあいがもて、有意義なものになったと感じています。当日集められた募金は、加賀市に寄付し児童福祉事業に充てられます。

今後もLSCの行事・活動をアピールしていきたいと思えます。

加賀地域ライフ・サポートセンター
事務局長 御館 啓太

第72回石川県勤労者美術展 作品紹介

日本画



厚生労働大臣賞
「柵の小径」
申岡 美恵子(金沢市)



石川県知事賞
「桜人」
小西 ひろみ(野々市市)



勤文協会長賞
「手取川に架かる和佐谷橋」
村中 道雄(白山市)



金沢市長賞
「秋日にて」
久留美(金沢市)

洋画



厚生労働大臣賞
「寒い朝. hnt?」
川崎 豊一(金沢市)



石川県知事賞
「山里の古物屋」
稲山 功子(小松市)



勤文協会長賞
「赤住朝陽」
米沢 善雄(志賀町)



金沢市長賞
「姉妹」
中村 瑞貴(内灘町)

書道



厚生労働大臣賞
「良寛の歌」
田中 晴恵(金沢市)



石川県知事賞
「犀星詩」
寺西 香月(内灘町)



勤文協会長賞
「柴田トヨ詩」
長内 礼子(金沢市)



金沢市長賞
「古典(刻字)」
寺下 陽子(金沢市)

工芸



厚生労働大臣賞
「霰」
高松 寿美子(金沢市)



石川県知事賞
「知恩院 三門」
加治 隆俊(金沢市)



勤文協会長賞
「蠢動」
盛本 立子(金沢市)



金沢市長賞
「うねり」
川口 由美子(金沢市)

写真



厚生労働大臣賞
「夕霧の中」
星名 哲(かほく市)



石川県知事賞
「波音」
村田 秀治(金沢市)



勤文協会長賞
「光の怪」
見世 安博(津幡町)



金沢市長賞
「出番前」
舟野 喜代子(金沢市)